web3 Global Hackathon

楽しいドライブはメンテナンスから 車のメンテナンスをNFTで楽しく

2023/11/9 営電㈱ 佐藤総一作成

(概要)

車のメンテナンスにNFTを利用することにより、車のメンテナンスにより興味を持ってもらえるようにする。また、車のメンテナンス情報をブロックチェーンにて管理し誰もが参照できるようになる。

今後のV2X等による通信でのNFTの利用などへの応用も広がると考えられ、 その例を示した。

※本資料およびNFTには"いらすとや"のフリー素材を利用しています。 https://www.irasutoya.com/

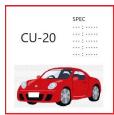
利用するNFTについて

今回は2種類のNFTを利用する。※ブロックチェーンはアスターのzKatanaを利用した。

• メンテナンス時にもらえるNFT (ERC-1155)

メンテナンスは多数の人が同一のNFTを受けることを想定してERC-1155にて配布することにした。 今回については、3パターン(車購入時、オイル交換、車検)でNFTをもらえるという例を想定した。 NFTをもらっても絵柄が面白くないとつまらないので、自分の所有する車の写真や、アイドルなどの写真と一緒に配布されることを想定した。













• プレゼントとしてもらえるNFT (ERC-721)

メンテナンスを複数受けたりすること等を条件としてプレゼントとしてもらえるNFT。 プレゼントは人によって欲しいNFT等があり、その人ごとに異なるNFTをもらうことを想定して ERC-721で配布することにした。今回はベリロンのNFTが配布されることを想定した。



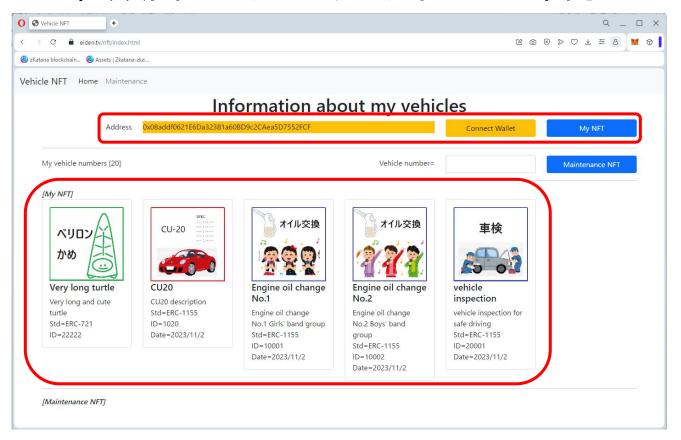


※絵は私のお絵かきで、本家ベリーロングアニマルズとは関係ありません。(念のため、著作権等を考慮しました)

NFTの表示方法1/2 (アドレス)

本デモDAppは https://eiden.tv/nft/index.html

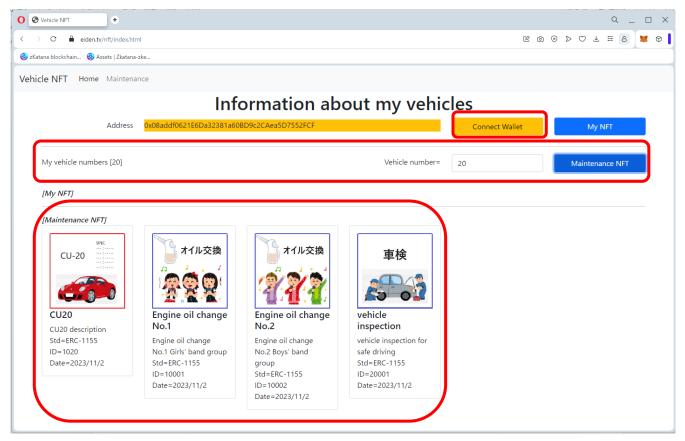
1種類目:メタマスクのアドレスで確認



- (1) "ConnectWallet"でボタンを押して メタマスクに接続する。 この時、メタマスクのネットワーク は zKatana にしておく。
- (2) "My NFT"ボタンを押すと、 [My NFT] に所有しているNFTがすべて表示される。 Adressで表示されているアドレスが所有しているNFTが表示される。 赤いスポーツカーを買ってオイル交換2回、車検を1回したことがわかる。 また、ベリロンかめをプレゼントでもらっていることが分かる。
- ※ここでは、Addressで所有している全ての NFTではなく、車のメンテナンスに関わるNFTの みに限定して表示されるようになっている。そのた め、NFTの所有確認は今回のNFTのコントラクト アドレスに限定しての検索し表示することになって いる。次ページ以降の説明についても同様となる。
- ※今回のDAppではユーザーはNFTを確認する・見るだけなので、仮想通貨等は持ってなくても利用できる。ただ、メタマスクのアドレスは事前に登録等を行う必要がある。NFT自体はマーケット等で販売もできるが、その場合は別途仮想通貨等が必要となる。
- ※NFTの絵の下のIDはNFTのトークンID、日付はNFT発行時の日付ではなく、ユーザーに配布処理した時点の日付となる。

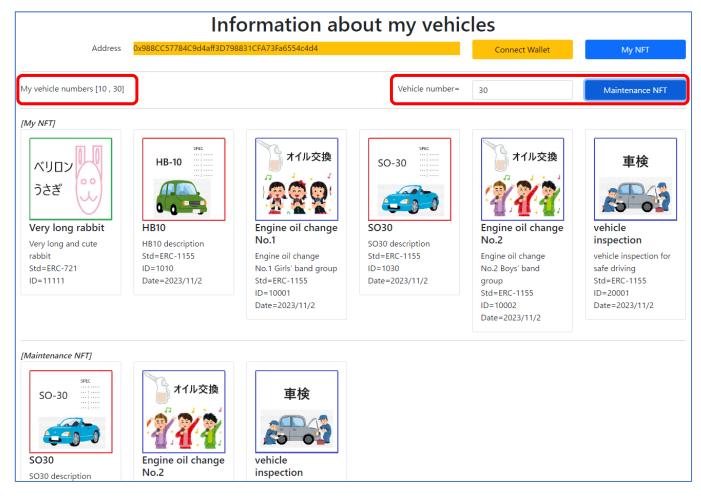
NFTの表示方法2/2 (車番号)

2種類目:車番号で確認



- (1) "Connect Wallet"でボタンを押して メタマスクに接続する。(※Addressは 利用しない)
- (2) My Vehicle numbersの[]内に所有している車番号が表示されるので、その車番号をVehicle number=に入力し、"Maintenance NFT"ボタンをクリックすると [Maintenance NFT] にその車番号のNFTが表示される。
- ※Vehicle number=に入力する数字は所有している車以外の番号でも可能。
- ※表示されるNFTはAddressがその車を所有しているかに関係なく、入力された車番号でメンテナンスを受けたNFTがすべて表示される。
- ※アドレスの時と比べて(前ページ) "ベリロン かめ"が無いのは、車にひもついたNFT のみの表示となり、個人が所有しているNFTとは 関係なく表示されるため。

車を複数台所有の例

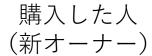


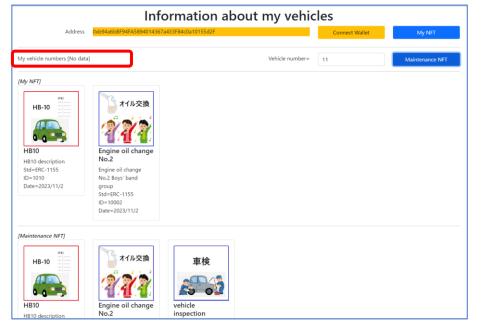
先ほどとは別の人 (別のアドレス) の表示例です。

車番号 1 0 と 3 0 の 2 台を所有していて、 [Maintenance NFT]には車番号 3 0 の情報 を表示しています。

中古車の例

売却した人 (元オーナー)





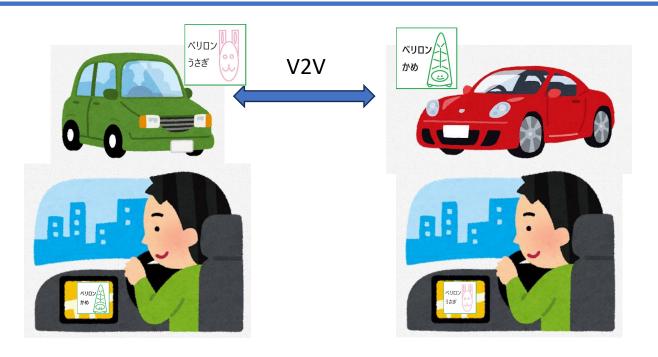


売却した人(元オーナー)の"My vehicle numbers"は"No data"となっていて、すでに所有していないことを示す。 [My NFT]には所有していた時に取得したNFTが表示される。

購入した人(新オーナー)の"My vehicle numbers"は"11"で車番号 1 1番の車を所有していることになる。 [My NFT]には車を所有した後に取得したNFT(本人所有のNFT)が表示される。

[Maintenance NFT]にオーナー関係なく、その車の全てのメンテナンス履歴が表示される。これは車番号さえわかれば誰でも利用できるので中古車購入前のメンテナンス履歴の確認などにも利用できる。ブロックチェーンで改ざんできないため、信頼できる情報。

V2XでのNFT利用例

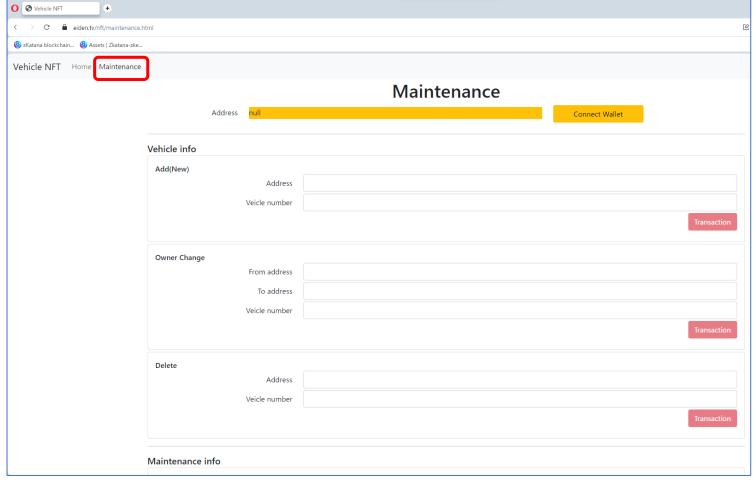


車の自動運転化や通信の発展とともに、車ではV2Xの通信の様々な実験が行われている。ちなみに、V2Xとは車(V)と何か(X)が通信でつながることを表している。

例えばV2V(車同士の通信)にて近くに対象となるNFTを所有した車同士が通信した時に、所有しているNFTが通信範囲内の他の車にも表示(交通法上難しければ運転中は音声案内して、停止時に履歴を確認するなど)するようなアプリケーションが考えられるかと思われる。

NFTを所有している人とすれ違うかもしれないというわくわく感や、運転者以外はNFTが色々と変わっていくのを見て特に子供などは楽しめるかと思われる。

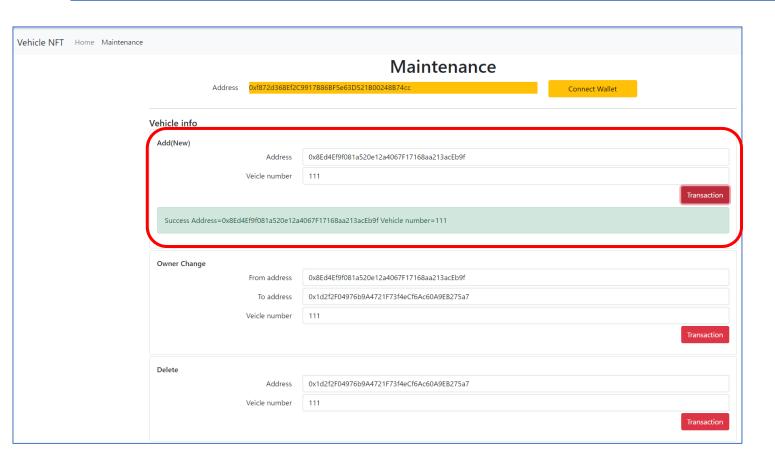
メンテナンス情報管理1/3



一番上のナビゲーションバーで "Maintenance"をクリックするとメ ンテナンスページに移動する。 ちなみに、元のNFT情報のページに 移動する場合は"Home"をクリック する。

- ※メタマスクで接続して各種登録を 行うことができるが、各種登録は許 可された人(スマートコントラクトで Approveされたアドレス)が許可さ れた権限内で行うことができる。
- ※本DAppにはNFTの発行機能 (mint)を持たせていないので、 別途発行する必要がある。

メンテナンス情報管理2/3 (車情報)

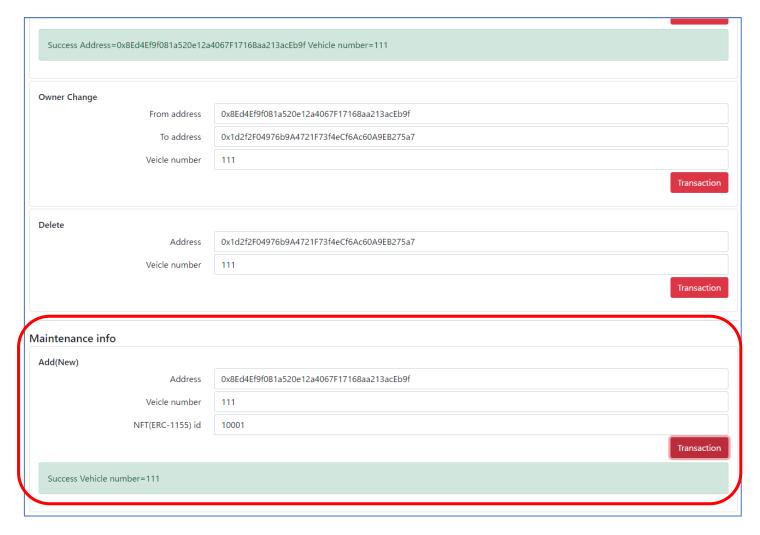


車の新規オーナーの情報を追加するにはAddに新規オーナーのアドレスと車番号を記載して
"Transaction"ボタンを押すとその情報が記載される。
ブロックチェーンに正常に記載された場合はイベントを受け取って
"Success"と緑色のメッセージが表示される。

同じようにオーナーチェンジ、削除(廃車にしたときなど)が可能。

この情報は、どのアドレスがどの車番号の車を所有しているかという情報を紐付けるデータベースの管理であり、NFTとは直接関係ない。

メンテナンス情報管理3/3 (メンテナンス)

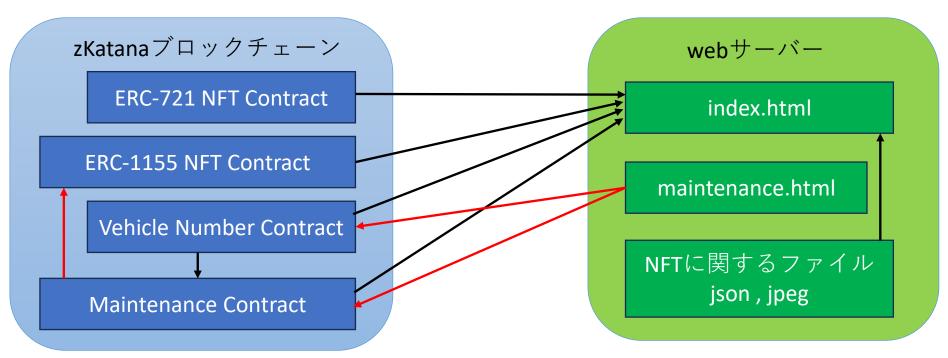


各車のメンテナンス情報を追加するには、Maintenace infoのAddにオーナーのアドレスと車番号、及び配布したいNFTのトークンIDを記載して"Transaction"ボタンを押すとその情報が記載されると共に、オーナーにNFTが割り当てられる。

メンテナンス情報はどの車(車番号)がどのメンテナンスを受けたか(NFTのトークンIDと同一値)という情報を紐付けるデータベースの管理を行っている。

メンテナンス情報とNFTとは別のスマートコントラクトであるが、メンテナンス情報のスマートコントラクトからNFTのスマートコントラクトのTransfer関数を呼ぶことでオーナーへの割り当てが自動的に行われる。

DAppの構成



index.htmlはユーザーがNFTを確認するための本Dappのメインページ。

スマートコントラクトは4つで構成される。Vehicle Number Contractは車番号の管理、 Maintenance Contractはメンテナンス情報の管理をしていて車番号とERC-1155 NFTの スマートコントラクトとも連携している。

NFTのメタデータおよび画像はデモ用途の為、簡易的にwebサーバー上に置いているが、IPFS等に置いても問題ない。

ブロックチェーン以外のデータベースは利用していない。